

指定管理者評価結果について

1. 評価の視点

- (1)施設の設置目的に沿った取組(サービスの向上等)が行われたか
- (2)経費の節減など効率性の向上が図られたか
- (3)公の施設にふさわしい適正な(適法性、安全性等)管理運営が行われたか

2. 評価手法・区分

指定期間の経過年数に応じた評価手法を用い、自己評価と外部評価の2段階評価を実施

(参考：評価ランクの設定)

種類	時期	概要
5段階評価	総括評価	5年度目(指定期間の最終年度)
	中間評価	2年度目
年次評価(所見評価)	それ以外の年度	所見を記した文章により評価する。

区分	点数	評価
A	90～100点	良好である
B	80～89点	概ね良好である
C	60～79点	普通である
D	40～59点	努力が必要である
E	0～39点	かなり努力が必要である

3. 令和2年度評価結果

施設名 (A部会)	評価			施設名 (B部会)	評価		
	区分	点数	ランク		区分	点数	ランク
1 大分農業文化公園・大分県都市農村交流研修館	総括	80	B	11 大分県立総合文化センター・大分県立美術館	所見	-	-
2 大洲総合運動公園・大分県立フェンシング場	所見	-	-	12 大分県立別府コンベンションセンター	中間	78	C
3 大分県リバーパーク犬飼	所見	-	-	13 ハーモニーパーク	総括	70	C
4 別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	中間	64	C	14 大分県長者原園地	総括	82	B
5 大分県林業研修所	総括	79	C	15 おおいた動物愛護センター ドッグラン・多目的広場	総括	72	C
6 大分スポーツ公園・高尾山自然公園 大分県立武道スポーツセンター	中間	73	C	16 大分県青少年の森・大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘	中間	82	B
7 大分県立庄内屋内競技場	中間	63	C	17 大分県社会福祉介護研修センター	総括	84	B
8 大分港大在コンテナターミナル	中間	72	C	18 大分県母子・父子福祉センター	総括	77	C
9 別府港北浜ヨットハーバー	総括	86	B	19 大分県身体障害者福祉センター	総括	81	B
10 県営住宅等	所見	-	-	20 大分県聴覚障害者センター	総括	87	B

4. 本日の論点

- ・過去の評価部会における意見(H25～R1:計353件)のうち、なお改善を要すると思われる項目、及び今回意見をいただいた項目(67件)のうち、特に重要と思われる項目を別紙のとおり整理。
- ・令和2～3年度に将来ビジョンを策定する施設を中心に、各部局の対応案に対するご意見をいただきたい。

リバーパーク犬飼における民間指定管理者の取組事例

- 令和2年4月から指定管理者を豊後大野市から民間事業者に移行
- 利用者数の増加とコスト削減、サービス向上のため以下の取り組みを実践

9月末現在のグラウンド利用者数(年間目標9,600名)

R1	R2
4,291名	6,354名

項目	Before	After	効果等
1. 指定管理者	豊後大野市	Goap(株) (アウトドアショップ山溪)	・民間の経営ノウハウや発想 ・コスト意識
2. 申込み・問い合わせ	紙、FAX、電話	ネット予約(空き状況閲覧可)	・人的なオペレーションコストの大幅な削減 ・利用者の利便性の向上
3. 決済	現金のみ	クレジットカード、電子マネー可	・利用者の利便性の向上
4. グラウンドの芝管理	地元の造園業者 (肥料・殺虫剤散布、芝刈り、散水)	専門業者(雪印種苗) 芝刈りと散水は指定管理が実施	・良好なコンディションの維持 ・専門家の助言によるきめ細やかな管理 ・管理コスト削減(629万円→474万円 △155万円) ・常に指定管理者がコンディションを意識
5. グラウンド利用の制限	6/1～7/20は休止 (平日は水曜日以外は休止)	なし (平日は水曜日以外は休止)	・利用者数の増(6月 0人→1,534人) ・ケースバイケースで判断
6. 大野川の活用	カヌー艇庫利用者	川遊びマップを配付(安全な場所を案内) キャンプ場利用者対象のカヌー体験(計画)	・遊びの場を提供 ・ライフジャケットを300円で貸出
7. 県市施設の 一体的利活用		チームビルディングキャンプ(計画) サッカー後にバーベキュー施設を利用 キャンプ場利用者対象の天体観測(計画)	・施設全体の盛り上がり(相乗効果) ・大分高校サッカー部がBBQ施設を利用 (10/10 100名)

上記以外にも

電力会社の変更、ライン石灰の有料化(経費節減)、シャワー室の休止(利用者数に比べて維持コストが非常に高い)、カヌー艇庫にキーボックス設置(いつでも利用可能)、豊後大野市の食堂と提携したサッカー利用者対象へ弁当の予約販売、ゴミの無料引き取り(有料が多い)、アウトドア用品のレンタル、虫取り網・ボール等遊び道具の無料貸出、畜産公社との連携(計画) etc 様々な取り組みを実践、計画している。

管理棟

暗い印象のあった管理棟をリニューアルし、アウトドア用品の販売・レンタル開始



オートキャンプサイト

多目的広場をオートキャンプ場へ変更



豊後大野市リバーパーク犬飼



大分県リバーパーク犬飼

多目的グラウンド

専門業者と指定管理者の連携した芝管理により良好なコンディションを維持



○評価部会等において特に評価の高かった点

- ・現場主義(利用者のニーズをきめ細かに把握し、サービス向上や収益改善につなげている)
- ・スピード(「検討」ではなく、トライアル&エラーをスピード感をもって進めている)

指定管理者評価結果の主な意見と対応案

A 部会（農林業振興・スポーツ・港湾・公営住宅施設）

No.	施設名 【指定管理者】 (ビジョン策定年度)	主な意見 細字:過去指摘 太字:今回指摘	各部署対応案
1	大分農業文化公園 大分県都市農村 交流研修館 【大分県農業農村振 興公社】 (R2年度)	① 日陰など利用者が休憩できる場所の増設 (H28, H30, R1)	・ベンチ・パラソル設置に加え、ミストシャワーの試験導入や桜30本植樹を実施済。 (H28~R1) ・今後、ケヤキやクスノキ等、大木のさらなる植樹を計画している。
		② ホームページや園内の多言語対応 (R1)	・英語・中国語・韓国語を併記した案内板を設置済。(H28~R1) ・今後、外国人の利用状況等を踏まえながら、ホームページや園内マップの改善を図る。
		③ 遊具の充実等、利用者の利便性向上につながる設 備投資 (R1)	・屋内トイレの洋式への改修や、フリーサイトキャンプ場、室内遊具、エアコン等の 整備を実施済 (R1~R2)。 ・今後ともさらなる施設の充実に向け、優先順位を付けて設備投資を行う。
		④ 園のコンセプトに沿ったフードコート運営 (H30, R1)	・「食の祭典」等イベント時や週末には、外部業者による県産食材メニューの販売を実施し、 来場者の食ニーズに対応。(H28~) ・園内農産物を使ったオリジナルソフトや軽食メニューを開発、販売。(R1~) ・今後は生産者や加工事業者と連携し、おおいた和牛や乾しいたけ等地域食材を活用した PRイベントの実施や、キャンプ用食材の提供等食の強化に取り組む。
		⑤ 親しみを感じられる施設のニックネームの公募 (R1)	・施設のコンセプトを見直すとともに、親しみのある名称の導入を目指す。
		⑥ 新型コロナウイルス対策の充実 (R2)	・1つの遊具に集中しないよう、案内表示や園内放送による誘導を実施している。 ・サーモグラフィーカメラと非接触型体温測定器を速やかに設置する。 ・屋外での食提供の充実を図る。
		⑦ 園内サイクリング時における危険箇所等のリスク 管理の徹底 (R2)	・坂道、カーブ等の危険箇所について、案内板により注意喚起を行っている。 ・衝撃緩和材ガードレールや側溝の蓋の設置など、安全対策を計画的に実施していく。
2	大洲総合運動公園 大分県立フェン シング場 【ファビルス・プラ ンニング大分共同事 業体】 (R3年度)	① 利用者の意見が施設の改善に繋がる調査手法の検 討 (R1)	・令和元年度は、スポーツ以外のイベントも調査対象とし、回収数増加に努めた。 (H30:202件、R1:320件) ・今年度は、施設ごとの調査対象の見直しやアンケート項目の見直しなどの調査手法の 検討を行い、年度内に施設や年代別のクロス集計による分析を行う。
		② ネットによる施設の予約システム導入の検討 (H27, R2)	・今年度中に具体的な検討を行い、導入を目指す。
		③ 新型コロナウイルス対策の充実 (R2)	・非接触型体温計による検温や連絡先等の把握を行っているが、今後も必要な検温体制の 構築に努めたい。 ・更衣室へのサーキュレーター導入。(令和2年9月設置済)
3	大分県リバー パーク犬飼 【Goap(株)】 (R3年度)	① 自動販売機のグラウンド横への設置検討(H30, R2)	・グラウンド横の市道沿いへの設置について、豊後大野市と協議中。
		② アンケート回答者数増加に向けた工夫 (R2)	・利用チーム全員に年1回以上のアンケート調査を実施する。 ・大会利用では、観戦者も含めた来場者全体にアンケート調査を実施する。
		③ 幅広い団体へのニーズ調査の実施 (R2)	・グラウンド利用につながる可能性のある団体にニーズ調査を行い、ビジョンに反映させる。

No.	施設名 【指定管理者】 (ビジョン策定年度)	主な意見 細字:過去指摘 太字:今回指摘	各部署対応案
4	別府港機械管理 駐車場・県営3 号上屋・石垣地 区緑地 【(株)おおいた観光 サービス】 (R3年度)	① 九州の東の玄関口にふさわしい施設の活用について検討 (H26, H28, H29, H30, R1, R2) ② 多種多様なイベント実施による賑わい創出の工夫 (H29, R2) ③ イベント主催者の新規開拓の実施 (R2) ④ フェリー会社との連携による物販の検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・2階ショーケースの展示方法や展示品の見直しを行い、RWC及び観光PRなどの強化を図った。(R1) ・九州の東の玄関口にふさわしい施設として活用できるよう、WGを設置し、外部の多様な視点を取り入れながら、施設の改善について検討し、年度内に具体策を立案する。 ・固定化したイベントばかりにならないよう、新しいイベントを計画する。 ・新たなイベント主催者については、商工会議所等と協力し、誘致を行う。 ・フェリー会社と協議の上、大分らしい物販が出来ないか検討する。
5	大分県林業研修所 【(公財)森林ネット おおいた】 (R4年度)	① 林業従事者増加に向けたプログラムの検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・日田林工高校の生徒を対象に、体験研修を毎年実施。 ・今後は、学生や子供向けのVRシミュレータ操作体験等、より長期的な視点でも新規就業者の確保を図る。
6	大分スポーツ公園 高尾山自然公園 大分県立武道スポーツセンター 【(株)大宣】 (R4年度)	① 利用者の意見が施設の改善に繋がる調査手法の検討 (R1) ② 高尾山自然公園の展望台の活用についての方向性を検討 (H28, H29) ③ 新型コロナウイルスの観点から新たな発想でのイベントの検討 (R2) ④ 新型コロナウイルス対策の充実 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、各施設ごとに分析、利用者ニーズを把握していく。 ・9月から主催団体を対象としたアンケートを実施し、年度内に施設毎の分析を行う。 ・利用者アンケートの結果から「自然を感じながら健康づくりができる公園」というコンセプトを設定し、健康遊具を設置した。(H29) ・ビジョンにコンセプトを明記するとともに、健康遊具設置後の満足度調査を行う。 ・新型コロナウイルス対策の観点から、新規で市内3高校から体育大会の利用申込があった。今後は他の高校にも案内し、利用促進につなげる。 ・非接触型体温計による検温や連絡先等の把握を行っているが、今後も必要な検温体制の構築に努めたい。
7	大分県立庄内屋内競技場 【由布市】 (R4年度)	① 県ホームページ等でのPRの充実 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の庄内屋内競技場ホームページを今年度中にリニューアル予定。屋内施設のテニス利用や、射撃体験等をPRしていく。
8	大分港大在コンテナターミナル 【(株)大分国際貿易センター】 (R4年度)	① 稼働率が低い「くん蒸庫」の利活用についての検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・くん蒸庫に係る利用者ニーズを把握するとともに、ビジョンの策定に向け、ターミナル全体の利活用を含め、どうあるべきか検討していく。
9	別府港北浜ヨットハーバー 【(株)ササキコーポレーション】 (R4年度)	① トイレ・シャワーの24時間使用についての利用者要望への対応の検討 (R2) ② 利用の増加に伴う施設の拡充についての検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用ニーズの詳細な把握とともに、時間外対応時の防犯・防火上の課題を整理した上で対応を検討していく。 ・ビジョン策定に向けて今後の方向性を検討する中で、必要な設備を検討していく。
10	県営住宅等 【大分県住宅供給公社】	① 入居率向上の取組の工夫 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・入居率の低下については、設備の老朽化が主要な要因の一つとして考えられるため、利用者ニーズを踏まえ計画的に改修・整備などを行っていく。 ・今後も入居者ニーズを踏まえた県営住宅の有効活用などにより、入居率向上の取り組みを進めていく。

B部会（文化・コンベンション・レクリエーション・社会福祉施設）

No.	施設名 【指定管理者】 (ビジョン策定年度)	主な意見 細字:過去指摘 太字:今回指摘	各部署対応案
11	大分県立総合文化センター 大分県立美術館 【(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団】 (R3年度)	① アンケート回答者数増加に向けた工夫 (H30, R1)	・スマホによるアンケート入力システムを導入済。(R1) ・従来来場者を実施しているアンケートに、新たに大分県芸術文化友の会「びび」向けにもアンケートを実施した。
		② ホームページのスマホ対応化と会議室等のネット予約の検討(総合文化センター) (R2)	・スマホ対応化は今年度中に実施する。会議室等のネット予約は県の電子申請システムの中で早期に対応する。
		③ 県民や芸術文化関係者のニーズを検討し、ビジョンへの反映 (R2)	・来場者アンケートや芸術文化関係団体で構成する「文化振興県民会議」などから意見をいただきビジョンに反映させる。
12	大分県立別府コンベンションセンター 【ビーコンプラザ共同事業体】 (R3年度)	① ツーリズムおおいた事務所跡地の利活用 (H29, H30, R1)	・3密対策徹底のため、コンベンションホール等のサブ会場として活用する。
		② グローバルタワーの利用促進 (H27, H29, H30, R1)	・天文教室や結婚式などのイベント開催。(H27~) ・RWC広告塔としての活用。(R1) ・更なる利用促進を図るため、ビジョンに具体的な収益改善策を明記する。
		③ ホームページが古いイメージでスマホにも未対応 (R2)	・スマホ対応、施設のネット予約受付に向け、改修に着手。
		④ アンケート数増加に向けた取組 (R2)	・気軽に回答していただけるようアンケート用紙にQRコードを掲載。 ・大規模イベントが多い10月に、集中的にアンケートを回収する。
		⑤ 集客ターゲットの検討 (R2)	・全国のコンベンションセンターの情報収集を行い、本県が産業化に向けて挑戦を進める分野の催事を誘致できるようセールスを進める。
13	ハーモニーパーク 【(株)サンリオエンターテイメント】 (R3年度)	① 実証展示林の管理のあり方の検討 (H28, H29, H30, R1, R2)	・令和3年度中に、ハーモニーパーク全体のリブランド(魅力再生)を関係機関と協議しビジョンに反映させる予定。実証展示林についても、3年度設立予定の竹林資源利活用団体への委託も選択肢の一つに入れ検討を進めている。
		② サンリオキャラクターを使った楽しい仕掛け等の工夫 (R2)	・公園内に複数箇所ポイントを設置してのキャラクターを使ったスタンプラリー(クイズラリー)の実施を検討する。
14	大分県長者原園地 【(有)吉武建設】 (R4年度)	① キャンプ場顧客のデータ分析とリピート客への効果的なアプローチ (R2)	・ICTの利用に精通した人員配置を進め、SNS等を活用した顧客のデータ分析及び情報発信によって効果的にリピート客へアプローチを行う。
15	おおいた動物愛護センター ドッグラン・多目的広場 【九州乳業(株)】 (R4年度)	① 顧客情報の分析と効果的な広報 (R2)	・事前の利用登録情報や個別の利用状況からリピート頻度などを分析の上、効果的な広報等を実施し、リピーター確保やサービスの向上につなげる。
		② インスタグラムとホームページの連携 (R2)	・インスタグラムからホームページへ誘導するリンクを貼り付るとともに、見やすいホームページへと適宜更新する。
		③ アンケート回答者数増加に向けた工夫 (R2)	・アンケート用紙を小さくして記入しやすくするとともに、煩わしさをなくすため、職員が利用者へ満足度などを聞き取ることでアンケート回答者数を増加させていく。

No.	施設名 【指定管理者】 (ビジョン策定年度)	主な意見 細字:過去指摘 太字:今回指摘	各部署対応案
16	大分県青少年の森 大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘 【(公財)森林ネット おおいた】 (R4年度)	① ホームページの改修とキャンプ場のネット予約の検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページのアクセスマップを改修。(R2) ・ スマホ対応化とキャンプ場のネット予約については、来シーズンに向けて対応する。
		② 集客のための戦略的なPRの検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞広告とラジオ広告に加え、SNS発信 (H27～)、ポスティング (H29～)、「道の駅のつはる」でのチラシ配付 (R1～)を実施。 ・ 森林・林業環境教育のフィールドとして子ども達を中心に新たな利用者の確保に向けて、地元地域おこし協力隊とのタイアップなど、戦略的なPR方法を企画する。
17	大分県社会福祉 介護研修センター 【(社福)大分県社会 福祉協議会】 (R4年度)	① 住宅改造モデル展示場の有効活用の検討 (H30)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板設置、パンフレット配布等による積極的な広報により利用者は増加した。(R1) (H30:186名→R1:327名、175%増) ・ 利用者数は増加したものの、依然として少ないため、施設の存廃を含めて利活用について検討の上、ビジョンに明記する。
		② 平日夜間研修の開催の検討 (H30, R1, R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ上でのアンケートに加え、「介護入門者研修」「公開講座」「就職フェア」の参加者等、アンケート対象を広げニーズを把握したい。
		③ 入門研修以前の介護に興味を持つ人へのアプローチ方法の検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県で実施する介護の魅力発信事業「OPEN OITA PROJECT」と連携を図り、センターホームページにおいて介護の仕事の魅力発信を行う。 ・ 介護研修センターの利用促進のための動画を作成し、研修の周知等を図る。
18	大分県母子・父 子福祉センター 【(一財)大分県母子 寡婦福祉連合会】 (R4年度)	① 相談時間帯の検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSによる相談受付を開始し、夜間でも相談できる体制とした。(R2)
		② 父親が相談しやすい環境作りの工夫 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談しやすいようホームページに「父子も相談可能」の表記を行った。(R2)
19	大分県身体障害 者福祉センター 【(社福)大分県社会 福祉協議会】 (R4年度)	① 既存利用者の高齢化と新規利用者掘り起こしへの対応 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢利用者については、アンケート等により、利用者ニーズを丁寧に聴取するとともに、利用環境の改善を行う。 ・ 新規利用者掘り起こしについては、主催教室等について、特定の世代向けのものに偏らないよう配慮するとともに、団体会員や各種施設利用者への働きかけを行う。
		② eスポーツなど新しい取組の検討 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意見も伺いながら、導入について検討したい。
20	大分県聴覚障害 者センター 【(社福)大分県聴覚 障害者協会】 (R4年度)	① これまで聴覚障害者センターを利用していない方への広報 (R1, R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害者更生相談所や聾学校等、これまで広報が不十分であった機関等へのPRを図る。